

保健管理センター年報

第 12 号

1989. 3

岐阜大学保健管理センター

目 次

ま え が き	岐阜大学保健管理センター所長	1
I	健康管理業務	3
1.	学生の健康管理	3
1)	昭和62年度学生の保健管理業務計画	3
2)	昭和62年度学生定期健康診断実施計画	4
3)	昭和62年度学生定期健康診断実施結果	6
4)	昭和62年度卒業予定者（修了予定者）及び体育系サークル部員健康診断実施計画	8
5)	昭和62年度卒業予定者（修了予定者）及び体育系サークル部員健康診断実施結果	9
6)	健康管理カード、UPIによる新入生健康調査・個別面接	11
7)	昭和62年度入学生健康調査・個別面接実施結果	13
8)	入学志願者の健康診断	13
2.	職員の健康管理	17
1)	昭和62年度職員健康診断業務計画	17
2)	昭和62年度職員一般定期健康診断実施計画	18
3)	昭和62年度職員肝機能検査及び胃の集団検診実施計画	19
4)	昭和62年度職員一般定期健康診断実施結果	20
5)	昭和62年度職員特別定期健康診断実施計画	21
6)	昭和62年度職員特別定期健康診断実施結果	32
3.	昭和62年度保健管理施設利用状況	34
II	「健康のしおり」の発刊について	40
	甲状腺について	42
	高血圧について	44
III	研究・調査報告	46
1.	昭和62年度入学生の健康管理カードによる健康調査の集計結果	46

2. 昭和58年度以降教育・工・農学部卒業生の保健管理センター利用状況調べ	52
3. 昭和56年度以降教育・工・農学部入学生の保健管理センター来所動機・ 経路及び面接結果調べ	56
4. 昭和53年度以降健康診断受検率調べ	66
5. 昭和62年度休学・退学・除籍者調べ	74
6. 保健管理活動の中から 中尾けさじ・林垣可代子・丹羽美穂子・山中栄子・栗本良子	75
7. 自殺学生の検討 —自殺未遂者から教えられたこと— 中尾けさじ	95
IV 保健管理センター規則等	99
1) 岐阜大学保健管理委員会規則	99
2) 岐阜大学保健管理センター規則	100
3) 保健管理機構略図	102
4) 学校医及び学生相談室員の相談日割	103
5) 関係職員	104
6) 建物平面図	107
7) 主要設備備品	108
(参 考)	111
昭和62年度学生教育研究災害傷害保険加入状況	111
昭和62年度学生健康保険互助会加入状況	111
学生教育研究災害傷害保険適用一覧	112
保健管理センター位置図	114

ま え が き

岐阜大学保健管理センター所長 武藤 泰敏

保健管理センター年報第12号をお届け致します。

丁度この序文を執筆している時点で、元号が改正され、「平成元年」がスタートすることになりました。「平成」とは「国の内外、天地に平和が達成される」ことを祈念したものであると聞き及んでおります。いずれにしても、激動の時代「昭和」は数々の想いを秘めて、終焉のときを迎えたわけです。戦争と平和とが混在した、いわば灰色を帯びた「昭和」を清算して、新しい時代へ出発することは大きな意味があるものと考えられ、身のひきしまる想いがあります。

さて、当保健管理センターの業務についてであります。ほぼ例年通りに、その運営も円滑に行われたのではないかといえます。しかし、問題がないというわけでもありません。学生の健康診断の受診率は年々低下傾向にありましたが、昭和62年度は、64.8%と前年度のそれに比べてもさらに低下を示しております。とくに教養部56.5%、医学部42%が大いに関係していると思われます。これについてはその原因を分析して、今後実際的に対処していきたいと考えております。

一方、胸部X線直接撮影については本年度も受診率は100%でした。最近、若年齢層における肺結核（しかも開放性）が増加傾向にあり注目されております。とくに岐阜県（東濃地区）の罹患率が全国でも一番高いことから憂慮されております。当大学でも1-2年の間に1人の肺結核が専門医に紹介されているとのことであります

（本年報第10号、58頁参照）。従って、胸部X線撮影はきわめて重要で、直接撮影だけでなく、間接撮影を是非受けること — そのためには全体の受診率の向上が望まれるわけです。そして、入学後も規則的な生活とバランスのとれた食生活（栄養）についての啓蒙が改めて重視されるのではないかと考えられます。

当施設の利用状況については、本年度は昨年度に比べて大幅に減っており、それはとくに職員の利用が減少したためであります。この点については、まだ結論が出てお

らず、その原因を調べてみることも必要かと存じます。なお、月別利用状況をみると職員の受診者数は8月に1つのピークを示しますが、これは人間ドッグの事後措置によります。一方、学生の利用状況は5-6月と10月との2つのピークを示し、前者は外科受診つまり体育やクラブ活動に馴れない状況、後者は健康診断の事後措置と感冒の罹患が増えるためではないかと考えられます。

本年度における研究・調査報告としては、身体および精神的相談の事後措置についての事例報告がまとめられております。また、自殺学生一とくに自殺未遂者についての検討が報告されておりますので、是非お読み下さればと思っております。いずれにしても、保健婦、看護婦および担当医の日常の努力に改めて感謝致しております。今後とも、「何んでも真剣に話を聞く」ようなサービスを行って頂けると思いますので、学生ならびに職員の方々には是非気軽に相談にお出下されば幸いです。

(1989. 1. 9)

I 健康管理業務

1. 学生の健康管理

1) 昭和62年度学生の保健管理業務計画

区	分	対象者	実施期間	検査項目等	備考
健康調査及び個別面接	粗面接	新入生全員	入学直後	健康管理カード及びUPI(5A)による健康調査及び粗面接	
	精密面接	要精密面接者	4月下旬～6月上旬	精密面接、内科診察、心電図、血圧測定、貧血検査、尿検査	
定期健康診断	定期健康診断	学部 学大 短大 重復 教農 育業 員全 (5,559人)	4月中旬～5月下旬	内科診察 X線間接撮影 身体計測(身長、体重)、視力測定 尿検査(蛋白、糖) 健康管理カードによる既応症	
定期健康診断(精密)	定期健康診断	要再検・精検者	4月下旬～6月下旬	X線直接撮影、血液検査、心電図、尿検査、血圧測定、内科診察	
	卒業予定者健診	卒業予定者(1,255人)	10月上旬～中旬	尿検査(蛋白、糖)、血圧測定	
臨時健康診断	体育系サークル部員健診	体育系サークル部員(967人)	10月中旬	内科診察、尿検査(蛋白、糖)、血圧測定	
	精密健診	要再検・精検者	10月中旬～下旬	X線直接撮影、血液検査、心電図、尿検査、血圧測定、内科診察	
特別健康診断	継続観察者精密健診	要観察者	随時	内科診察、X線直接撮影、血液検査、尿検査、血圧測定、心電図	
	放射線取扱者健診	該当学生	随時	血液の検査、皮膚の検査	
	特定有害薬品使用者健診	該当学生	5月・11月	自覚症状等の検査、口腔及び皮膚の検査、血液の検査、尿の検査、肺臓の検査、肺活量の検査等	

2) 昭和62年度学生定期健康診断実施計画

月 日	曜日	対 象	対象人員	検査区分	実施場所	実施時間	
62 4. 22	水	医学部学生 (全員)	350	定期健診	医 学 部 保 健 管 理 セ ン タ ー	12:00~14:00	
" "	"	工業短期大学生 (3年生・2年生の半数)	300	"		"	17:30~20:00
23	木	工学部学生 (4年生)	400	"		"	13:00~16:00
24	金	" (3年生・大学院生・その他)	400	"		"	"
28	火	" (4年生)	該当者	再 検	"	9:00~11:00	
30	木	" (3年生・大学院生・その他)	"	"	"	"	
5. 6	水	教養部学生 (教育・医 2年生)	400	定期健診	"	13:00~16:00	
" "	"	工業短期大学生 (2年生の半数・1年生)	300	"	"	17:30~20:00	
7	木	教養部学生	該当者	再 検	"	9:00~11:00	
" "	"	教育学部学生 (3年・重複・専攻・その他)	400	定期健診	"	13:00~16:00	
8	金	教養部学生	該当者	再 検	"	9:00~11:00	
" "	"	農学部学生 (3年生・大学院生・その他)	300	定期健診	"	13:00~16:00	
11	月	教育学部学生 (3年・重複・専攻・その他)	該当者	再 検	"	9:00~11:00	
12	火	農学部学生 (3年生・大学院生・その他)	"	"	"	"	
" "	"	" (4年生)	230	定期健診	"	13:00~16:00	
13	水	教養部学生 (教育・医 1年生)	400	"	"	"	
" "	"	工業短期大学生	該当者	再 検	"	17:00~19:00	
14	木	教養部学生・農学部学生	"	"	"	9:00~11:00	
" "	"	教職員 (柳戸地区)	400	定期健診	"	13:00~16:00	
15	金	教養部学生	該当者	再 検	"	9:00~11:00	
" "	"	教職員 (柳戸地区)	400	定期健診	"	13:00~16:00	
18	月	農学部学生 (4年生)	該当者	再 検	"	9:00~11:00	
19	火	教育学部学生 (4年生)	350	定期健診	"	13:00~16:00	
20	水	"	該当者	再 検	"	9:00~11:00	
" "	"	教養部学生 (農学部 1・2年生)	400	定期健診	"	13:00~16:00	
21	木	"	該当者	再 検	"	9:00~11:00	
22	金	"	"	"	"	"	
25	月	教職員 (柳戸地区)	"	"	"	"	
26	火	"	"	"	"	"	
27	水	教養部学生 (工学部 2年生)	400	定期健診	"	13:00~16:00	
28	木	"	該当者	再 検	"	9:00~11:00	
29	金	"	"	"	"	"	
6. 2	火	医学部学生	"	"	医 学 部 保 健 管 理 セ ン タ ー	"	
3	水	教養部学生 (工学部 1年生)	400	定期健診		"	13:00~16:00
4	木	"	該当者	再 検	"	9:00~11:00	
5	金	"	"	"	"	"	
8	月	教職員 (司地区)	350	定期健診	医 学 部	13:00~16:00	
9	火	"	350	"	"	"	
" "	"	教職員 (司地区)	該当者	再 検	"	"	
" "	"	"	"	"	"	"	
25	木	X線直接撮影	"	精密検査	保 健 管 理 セ ン タ ー	"	
" "	"	"	"	"		"	"

担当 医師数	センター 医師	学外医師	医学部 医師	看護婦数	担当 看護婦名	備 考
4	2		2	2	丹羽・栗本	定期健診 ・内科診察 ・胸部X線間接撮影 ・尿検査 学生全員 職員35才以上
3	2		1	5		
4	1	1	2	5		
4	1	1	2	5		
4	2		2	5		
3	2		1	5		
4	1	1	2	5		
3	1	1	1	5		
2	1	1		5		
4	2		2	5		
				2	林垣・栗本	精密検査 ・内科診察 ・心電図 ・血液検査 ・血糖検査 ・胸部X線直接撮影
4	1	1	2	5		
4	1	1	2	5		
4	1	1	2	5		
4	2		2	5		
4	2		2	5		
4	2		2	5		
4	2		2	5		
4	1		3	2		
4	1		3	5		
					中尾・林垣	
4	2		2	5		
4	1		3			
4	1		3			

3) 昭和62年度学生定期健康診断実施結果

区 分 部 局	在 学 生 数	休学者数		対 象 者 数	受 検 者 数	受 検 率	未 受 検 者 数	胸部エックス線撮影			
		疾 病 に よ る も の	疾 病 以 外 に よ る も の					間 接 受 検 者 数	要 直 接 撮 影 者 数	赤 沈	要 観 察 ・ 治 療 者 数
教育学部	683 ^人		6 ^人	677 ^人	520 ^人	76.8 [%]	157 ^人	518 ^人	3 ^人		2 ^人
医学部	350			350	147	42.0	203	147			
工学部	795	1	11	783	489	62.5	294	489	1		
農学部	439	1	8	430	369	85.8	61	368	1		
教養部	2,252	1	15	2,236	1,263	56.5	973	1,263			
小計	4,519	3	40	4,476	2,788	62.3	1,688	2,785	5		2
医学研究科	47		1	46	14	30.4	32	14			
工学研究科	182			182	175	96.2	7	175			
農学研究科	141		3	138	127	92.0	11	127			
工業短期大学部	641	1	32	608	429	70.6	179	429	1		
小計	1,011	1	36	974	745	76.5	229	745	1		
合計	5,530	4	76	5,450	3,533	64.8	1,917	3,530	6		2

教育専攻科	1			1	1	100.0	0	1			
農業別科	8			8	3	37.5	5	3			
重複障害教育 教員養成課程	19			19	16	84.2	3	16			
研究 教育学部					3			3			
研究 工学部					9			9			
研究 農学部					1			1			
合計					33			33			

内 科 診 察									尿 検 査							
受 診 者 数	聴打診による有所見者数	間接撮影による有所見者数	再検後の要治療要観察者数	再検未受診者数	検 査 件 数				受 検 者 数	蛋 白			糖			そ の 他
					内 科 診 療	心 電 図	血 圧 測 定	血 液 検 査		要 再 検 者 数	要 観 察 者 数	要 治 療 者 数	再 検 未 受 検 者 数	要 再 検 者 数	要 観 察 者 数	
520	1				1	1	1		520	29	2	2	1			1
147									147	6	1	2				
489	3		2		3	3	3		489	14	3	1	6	2		
369	1				2	1	1		369	9	2					
1,263	18		8		18	11	14	4	1,263	63	9		2			2
2,788	23		10	0	24	16	19	4	2,788	121	17	5	9	2		3
14									14	1		1				
175	2		1	0	2	1	1		175	1						
127									127	3	1					
429	3		1	1	2	2	2		429	15	1	4				
745	5		2	1	4	3	3		745	20	2	5				
3,533	28		12	1	28	19	22	4	3,533	141	19	10	9	2		3

1									1							
3									3							
16									16							
3									3							
9									9	2	1	1				
1									1							
33									33	2	1	1				

4) 昭和62年度卒業予定者(修了予定者)

及び体育系サークル部員健康診断実施計画

1. 日 程

月 日	曜日	健 診 対 象	実施時間	受検予 定者数	実施場所
9.16	水	医学部卒業予定者・修了予定者 " 体育系サークル	12:00 14:00	300	於 司 地 区
9.17 ↓ 9.25	木 ↓ 金	" 再検査	8:30 ↓ 16:30	該当者	於 保健管理 センター
10.14	水	工業短期大学部卒業予定者	17:30 19:00	150	"
10.15	木	工学部卒業予定者 " 修了予定者	13:00 15:00	400	"
10.16	金	教育学部卒業予定者・修了予定者 " その他	13:00 15:00	360	"
10.19	月	工学部 再検査	9:00 11:00	該当者	"
10.20	火	教育学部 再検査	9:00 11:00	該当者	"
10.21	水	農学部卒業予定者・修了予定者・その他 教育・ 工・農学部・教養部 体育系サークル部員(1.2.3年)	13:00 15:00	1000	"
10.22	木	体育系サークル部員 再検査	9:00 11:00	該当者	"
10.23	金	農学部 再検査	9:00 11:00	該当者	"
10.28	水	工業短期大学部 再検査	17:00 19:00	該当者	"

2. 検査項目及び内科診察

- (1) 血圧測定 全員検査
- (2) 尿 検 査 (蛋白・糖) 全員検査
- (3) 内科診察 体育系サークル部員のみ

5) 昭和62年度卒業予定者(修了予定者)及び体育系サークル部員健康診断実施結果

区	分	在学者数 人	休学者数 人	対象者数 人	受検者数 人	受検率 %	内科診察				血 圧				尿 蛋 白				尿 糖							
							再要 診察者数	再診結果			未再 診者数	要再 検者数	再検結果			未再 検者数	要再 検者数	再検結果			未再 検者数	要再 検者数	再検結果			未再 検者数
								正 常	要 観 察	要 治 療			正 常	要 観 察	要 治 療			正 常	要 観 察	要 治 療			正 常	要 観 察	要 治 療	
卒業 予 定 者	教育学部	362	2	360	311	86.4					12	10	1		1	7	7									
	医学部	80	0	80	51	63.8					6	1	1		4	1	1									
	工学部	422	9	413	229	55.4					20	16	3		1	1		1			1	1				
	農学部	202	6	196	145	74.0					8	7	1			1		1			1		1			
	小計	1,066	17	1,049	736	70.2					46	34	6		6	10	8	2			2	1	1			
	教育専攻科	1	0	1	1	100.0					0					0					0					
	重複障害教育 教員養成課程	19	0	19	0	0					0					0					0					
	農業別科	7	0	7	0	0					0					0					0					
	工業短期大学部	239	23	216	73	33.8					2	2				4	2	1		1	0					
	小計	266	23	243	74	30.5					2	2				4	2	1		1						
合計	1,332	40	1,292	810	62.7					48	36	6		6	14	10	3		1	2	1	1				
体育系 サークル 学生	柳戸地区 1年			241	70	29.0					1	1				2	2									
	” 2年			255	37	14.5										1	1									
	” 3年			218	17	7.8	1		1																	
	司地区			245	45	18.4	1		1		3				3	1	1									
	小計			959	169	17.6	2		2		4	1			3	4	4									
修了 予定者	医学研究科	8	0	8	0	0																				
	工学研究科	89	0	89	58	65.2					7	6	1			2	2									
	農学研究科	58	4	54	44	81.5					2	2														
	小計	155	4	151	102	67.5					9	8	1			2	2									
総計	1,487	44	2,402	1,081	45.0	2		2		61	45	7		9	20	16	3		1	2	1	1				

6) 健康管理カード・UPIによる新入生健康調査・個別面接

新入生の健康調査・保健管理、特に精神健康管理について：昭和42年度から新入生全員を対象とした個別面接を、定期健康診断の一環として、教育学部・教養部の心理学等担当教官、医学部・附属病院の精神医学等担当教官・医師の協力を得て実施してきたが、昭和53年度から実施方法・時期・要再面接の判定基準などを変更し、新入生全員の健康状態の把握、精神不安定・不健康な者の早期発見、それらの早期の対処、更に積極的に不健康の予防、人格的発達への寄与などを目的に、健康調査・個別面接として継続実施している。

要領：入学式の当日学生に配布し、記入させた健康管理カード（資料1）・UPI（資料2）を保健管理センターへ本人に持参させ、提出時にそれらを資料として、1人4～5分程度の面接を行い、各人の心身の健康状態を調査し、集団生活・修学上の諸問題について適切な指導・助言を与え、更に保健管理センターの組織・機能について説明し同センターの利用を勧める。

面接・調査の結果、更に詳しく診察・検査・面接を要すると判定された者については、早い時期（定期健康診断実施前から実施中）に事後措置・再面接を行う。

要再面接の判定基準：健康管理カード（資料1）の自覚症状・既往歴・その他の記載事項、UPI（資料2）の30項目以上肯定したもの、25・34・49・55番の項目を肯定したもの、備考欄に相談したいとか、気になることの記載の有るもの及び面接時の印象などの総合判定による。

面接・調査は、保健管理センターの保健管理医（精神科医・内科医）、学校医（保健管理センター非常勤講師）、保健婦・看護婦が担当する。

資料1

整理番号 **62** 教・工 医・農

健康管理カード	学部	氏名	性別	男・女
	学科	生年月日	昭和	運動部名

健康調査

次の項目で該当するものに○印を、該当しないものに×印をつけてください。

項目	回答欄	項目	回答欄
1. よく風邪をひく		8. めまい・立ちくらみがあることがある	
2. ひどい寝汗をかくことがある		9. 息苦しくなって困ることがある	
3. 口が渇くことがある		10. 疲れやすく元気がない	
4. 顔や下肢がむくむことがある		11. 手足のつることがある	
5. おなかをよくこわす		12. めだって体重が増減したことがある	
6. よく便秘する		13. 関節・腰などに痛みを感じるがある	
7. 頭が重かったり痛んだりすることがある		14. 薬剤使用後に熱や発疹が出たり、気分が悪くなったことがある（例：ペニシリン・サルファ剤）	
身内に脳卒中で亡くなった者がいる		身内に結核の者がいる	
身内に結核で亡くなった者がいる		身内にがんの者がいる	
身内にがんて亡くなった者がいる		身内に糖尿病の者がいる	
身内に高血圧の者がいる		身内に肝臓病の者がいる	
血液は何型ですか	A. B. O. AB (RH +, -)	中・高校時代疾病により長期欠席(3か月以上)したことがある	
ツベルクリン反応	陽性・疑陽性・陰性(年 月 陽転)	色覚異常の有無及び程度	無・有()

次のような病気にかかったことがあれば、何歳の時か記入してください。

1. 肺結核	歳	2. その他の結核	歳	3. 心疾患	歳	4. 腎疾患	歳	5. 肝疾患	歳
6. 気管支喘息	歳	7. 貧血	歳	8. リウマチ	歳	9. 小児まひ	歳	10. てんかん	歳
11. ノイローゼ	歳	12. 精神神経疾患	歳	13. 交通事故による疾患	歳	14. その他()			歳

学籍番号 _____ 岐阜大学 _____ 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

よりがけ 氏名	男 女	昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日	出身高校 出身大学	卒業 卒業	年卒 中退
現住所 (〒) (TEL) _____	(方)	学科	家族 父 (姓・否) _____ 母 (姓・否) _____ 兄 (同居の) 祖父 _____ 義父母又は義父母 _____	才 (姓・否) _____ 才 (姓・否) _____	才 (姓・否) _____
父兄住所 (〒) (TEL) _____ (氏名) _____	(住所)	自宅 下宿 学寮 その他	被褥	兄弟 _____ 姉 _____ 祖母 _____ 有・無 _____	才 _____ 人 _____ 才 _____

下記の質問は多くの人が、しばしば経験することを列挙したもので、これは、あなたの健康の理解と増進のための調査です。番号順によく読んで、あなたが最近1年位の間、ときどき感じたり、経験したりしたことのある項目の番号に、軽い気持ちで○印を、ない項目の番号には×印を書いて下さい。これは、あなた個人のことで、他人にももらしたり、上の目的以外に使うことは決してありませんから、安心してありのままに書いて下さい。書き終ったら、もう一度よく読んで、書き落しがないか、また、氏名など記入したか、確かめて下さい。
(所要時間は10分程度)

○ 提出は4月16日、17日、18日の間に、保健管理センターへ健康管理カードと共に本人が特参し提出すること。

㊫ U. P. I. (A 5)

1. 食欲がない	16. 不眠がちである	31. 赤面して困る	46. 体がだるい
2. 吐気、胸やけ、腹痛がある	17. 頭痛がする	32. 吃ったり、声かふるえる	47. 気になると冷汗が出やすい
3. わけもなく便秘や下痢をしやすい	18. 頸すじや肩がこる	33. 体がほてったり、冷えたりする	48. めまいや立ちくらみがする
4. 動悸や脈が気になる	19. 胸が痛んだり、しめつけられる	34. 排尿や性器のことが気になる	49. 気を失ったり、ひきつけたりする
5. いつも体の調子がよい	20. いつも活動的である	35. 気分が明るい	50. よく他人に好かれる
6. 不平や不満が多い	21. 気が小さすぎる	36. なんとなく不安である	51. こだわりすぎる
7. 親が期待しすぎる	22. 気疲れする	37. 独りでいるとおちつかない	52. くり返しだしかぬないと苦しい
8. 自分の過去や家庭は不幸である	23. いらいらしやしい	38. ものごとに自信をもてない	53. 汚れが気になって困る
9. 将来のことを心配しすぎる	24. おこりっぽい	39. 何事もためらいがちである	54. つまらぬ考えがとれない
10. 人に会いたくない	25. 死にたくなる	40. 他人にわるくとられやすい	55. 自分のへんな匂いが気になる
11. 自分が自分でない感じがする	26. 何事も生き生きと感じられない	41. 他人が信じられない	56. 他人に陰口をいわれる
12. やる気が出てこない	27. 記憶力が低下している	42. 気をまわしすぎる	57. 周囲の人が気になって困る
13. 悲観的になる	28. 根気が続かない	43. つきあいが嫌いである	58. 他人の視線が気になる
14. 考えがまとまらない	29. 決断力が弱い	44. ひげ目を感じる	59. 他人に相手にされない
15. 気分が波がありすぎる	30. 人に頼りすぎる	45. とりこし苦労をする	60. 気持が傷つけられやすい

その他、自分の気になることがあつたら、記入して下さい。
上記について相談をしたいと思えますか。 1. はい (すぐに・そのうちに) 2. いいえ 3. その他()

※ 保健管理センター(学生相談室)では、あなたの方の心身の健康増進のため相談に応じていますので、利用して下さい。

7) 昭和62年度入学生健康調査・個別面接実施結果

区 分	教育・医・工・農学部	工業短期大学部
入 学 者 数	1, 1 4 4 人	2 0 8 人
受 検 者 数	1, 1 2 0 人	2 0 0 人
受 検 率	9 7. 9 %	9 6. 2 %
要 再 面 接 者 数	1 1 4 人	2 6 人
要 再 面 接 率	1 0. 2 %	1 3. 0 %
再 面 接 受 検 者 数	1 0 1 人	2 2 人
再 面 接 受 検 率	8 8. 6 %	8 4. 6 %

8) 入学志願者の健康診断

a) 昭和63年度岐阜大学入学者選抜時の健康診断実施要領

「大学入学者選抜実施要領」（昭和62年6月29日付け文高大第208号高等教育局長通知）に基づき本学入学者選抜時の健康診断は、下記要領により実施するものとする。

記

健康診断委員会は、次の区分により入学の適否を判定する。

1. 健康状況の把握

入学志願者の健康状況の把握については、調査書の「健康の状況」の記載によることを原則とする。ただし昭和60年度以前の高等学校卒業生及び大学入学資格検定の合格者等調査書を提出することができない者については、医師が証明する本学所定の健康診断書によるものとする。

2. 調査書（健康の状況）及び健康診断書の審査

学長から委嘱された健康診断医が予め審査し、精密検査の要・不要を判定する。

3. 精密検査

健康診断医が必要と判定した者に対しては、次の項目のうち必要な検査を行うものとする。

- (1) エックス線直接撮影
- (2) 血 沈
- (3) 尿

- (4) 内 科
- (5) 眼 科
- (6) 耳鼻咽喉科
- (7) 整形外科
- (8) その他必要事項

4. 入学適否の判定

健康診断委員会は、次の区分により適否を判定する。

- A. 入学を適当と認められる者
- B. 教授会で協議を要する者
- C. 入学を不適当と認められる者

b) 昭和63年度岐阜大学入学者選抜時の健康診断判定基準

入学者選抜時の健康診断は、昭和62年6月29日付け文高大第208号通知に準拠して実施し、本学の特質を考慮して入学の適否を判定する基準を次のとおり定める。

入学を許可しない方針の者

1. 視力について

矯正視力が両眼ともに0.1以下の者（1眼が失明していても、他眼の矯正視力が0.2以上あれば差し支えない。）

ただし、医学部においてはこのほか次に該当する者

- (ア) 矯正視力が1眼0.02以下、他眼0.5以下の者（1眼が失明していても、他眼の矯正視力が0.6以上あれば差し支えない。）
- (イ) 片眼の視野が10度以内の者においては、他眼の中心視野が30度以下の者

2. 聴力について

医学部及び農学部獣医学科においては、純音オージオメータによる聴力検査にて両耳の聴力レベルが70dB以上の者

〈注〉

- (1) 聴力測定は補聴器を装着しない状態で行う。
- (2) 純音オージオメータは、JIS規格（昭和57年8月14日改定）を用いる。
- (3) 聴力レベルは、会話音域の平均聴力レベルとし、周波数500, 1000, 2000ヘルツの純音に対する聴力レベル（dB値）をそれぞれa、b、cとした場合、次の算式により算定して数値とする。

$$\frac{a + 2b + c}{4}$$

- (4) 当分の間（昭和63年8月13日まで）、昭和57年8月14日改定前の旧JIS規格のオーディオメータを使用して差し支えないが、この測定値は聴力損失といって聴力レベルより低いdB値を示すので、500, 1000, 2000ヘルツの純音に対する聴力損失（dB値）をa、b、cとした場合、次の算式により聴力レベル（dB値）に換算した数値とする。

$$\frac{a + 2b + c}{4} + 10$$

3. その他疾病若しくは身体の障害等により、修学上困難がある者

c) 昭和63年度入学試験健康診断精密検査該当者数・受診者数

検査項目等 学部	X線直接 撮影	赤 沈	尿 検査	内科診察	眼科診察	耳鼻咽喉 科診察	整形外科 診察	その 他			計	
								泌尿器 科診察	放射線 診察	その他	延件数	実人員
教育学部	(4) 3		(4) 4	(9) 8			(2) 2	(2) 2	(7) 6	(28) 25	(20) 18	
医学部	(1) 1		(3) 3	(7) 6						(11) 10	(7) 6	
工学部			(1) 1	(1) 1			[1] [1]			(2) [1]	(1) [1]	
農学部	(1) 1	(2) 1	(3) 2	(4) 3				(1) 1	(1) 1	(13) 7	(7) 4	
計	(6) 4	(2) 1	(11) 10	(21) 18			(2) [1]	(1) 1	(3) 2	(54) [1]	(35) [1]	

○ 検査項目等欄の上段()書は精密検査該当者数、下段は受診者数を示し、検査項目等欄の[]書は事前協議者を示す。

2. 職員の健康管理

1) 昭和62年度職員健康診断業務計画

区 分	対 象 者	期 間	検 査 項 目 等
一般定期健康診断	職 員 全 員 (1,521名)	5月～6月	1.内科検診 2.胸部エックス線間接撮影 3.身体測定(身長、体重、視力)
	35歳以上 (971名)	〃	1.血圧測定 2.尿中のたんぱく及び糖の検査
	40歳以上 (711名)	1月～3月 6月(司・11月)	1.胃の検査(エックス線間接撮影) 2.肝臓機能検査
一般定期健康診断 (精密検査)	再 検 者 及 び 精 検 者	5月～6月	1.胸部エックス線直接撮影、赤沈、内科 検診、心電図 2.尿検査、血圧測定、その他
特別定期健康診断	タ イ ピ ス ト (18名)	〃	自覚症状等の検査、 部、背部の機能検査
	理 学 療 法 士 (2名)	〃	自覚症状等の検査、皮膚の検査、上肢、 頸部、背部の機能検査
	夜 勤 者 (216名)	〃	自覚症状等の検査、血圧の検査、尿の検 査
	自 動 車 運 転 手 (7名)	〃	自覚症状等の検査、眼の検査、聴器の検 査、平衡機能の検査、胃腸の検査、血圧 の測定、上肢、頸部及び腰部の機能検査
	給食等関係者 (28名)	〃 (検便毎月)	自覚症状等の検査、伝染病の検査、寄生 虫の検査、皮膚の検査、腰部の機能検査
	病原体取扱者 (624名)	5 月 11 月	自覚症状等の検査、病原体による疾病に 特有な症状の検査、病原体の検査
	チェンソー等 取扱者(4名)	11月～12月	自覚症状等の検査、筋力の検査、血圧の 検査、末しょう循環機能検査、末しょう 神経機能検査
	放射線取扱者 (216名)	3ヶ月毎	皮膚の検査、問診、血液の検査(6ヶ月 毎)
	特定有害業務 従事者等 (78名)	6 月 (司・11月)	自覚症状等の検査、口腔及び皮膚の検査、 血液の検査、尿の検査、肺臓の検査、肺 活量の検査等
紫外線等取扱者 (1名)	11月～12月	自覚症状等の検査、眼の検査、皮膚の検 査	

2) 昭和62年度職員一般定期健康診断実施計画

対象地区	日時	検査等項目	場所	備考
工学部、農学部、 工業短期大学部	5月14日(木) 13:00~15:30	内科診察、胸部X線間接撮影、 血圧測定及び尿検査(血圧、 尿は35歳以上の者)	保健管理 センター	医師 4人 看護婦 5人
本部、教育学部、 教養部、附属図書館、 保健管理センター	5月15日(金) 13:00~15:30	〃	〃	医師 4人 看護婦 5人
司地区	6月8日(月) 9日(火) 13:00~15:30	〃	附属病院	医師 各4人 看護婦 各4人
柳戸地区	5月25日(月) 26日(火) 9:00~11:00	血圧測定及び尿検査	保健管理 センター	再検査の必要な者
司地区	7月13日(月)	〃	附属病院	〃
司地区	6月25日(木) 10:00~11:30	赤沈等及び胸部X線直接撮影	〃	精密検査の必要な者
柳戸地区	6月25日(木) 13:00~14:00	〃	保健管理 センター	〃
農学部附属 山地開発研究施設	別に定める	内科診察、胸部X線間接撮影、 血圧測定及び尿検査(血圧、 尿は35歳以上の者)	高山保健所	☎0577 33-1111 保健予防課
農学部 附属演習林	別に定める	〃	益田保健所	☎05765 2-3111 保健予防課

(備考)

1. 地区別の区分は、次のとおりとする。

(1) 柳戸地区：事務局、学生部、教育・工・農学部（附属農場を含む。）、教養部、附属図書館、工業短期大学部及び保健管理センター

(2) 司地区：医学部、同附属病院及び附属図書館医学部分館

2. かくたん検査については、諸検査の結果、精密検査の必要な者について実施する。

3. 教育学部附属小・中学校については、別に実施する。

3) 昭和62年度職員肝機能検査及び胃の集団検診実施計画

- (1) 検診対象者
 a. 満40歳以上の者
 b. 上記以外で検査を希望する者
- (2) 検査方法
 3ccの採血をして行う
- (3) 検査項目
 GOT、GPT
- (4) 採血日時等

区 分	日 時	対 象 部 局	実 施 場 所
肝機能検査	7月6日(月) 9:00~11:00	事務局、学生部 農学部(附属農場を含む) 教養部、附属図書館(医学部分館を除く) 保健管理センター	保健管理 センター
	7月7日(火) 9:00~11:00	教育学部、工学部 工業短期大学部	〃
	11月24日(火) 25日(水) 13:00~16:30	医学部 医学部附属病院 附属図書館医学部分館	医学部附属病院
	7月7日(火) 8日(水) 9日(木)	教育学部附属小・中学校	杉浦内科胃腸科 (岐阜市加納)
胃の集団検診	7月7日(火) 8日(水) 9日(木)	〃	〃
	1月18日(月) 19日(火) 20日(水) 21日(木) 8:30~10:00	医学部 医学部附属病院 附属図書館医学部分館	医学部教育棟前
	1月22日(金) 8:30~10:00	事務局、学生部 附属図書館 保健管理センター 工業短期大学部	本部棟玄関
	2月29日(月) 8:30~10:00	工学部 農学部(附属農場を含む)	工学部ピロティ
	3月1日(火) 8:30~10:00	教育学部 教養部	教育・教養 外来者駐車場

4) 昭和62年度職員一般定期健康診断実施結果

検査項目 部局	胸部X線間接撮影				胸部X線直接撮影				尿検査				血圧測定				胃検査				肝機能検査				
	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率 %	経過観察数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率 %	経過観察数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率 %	経過観察数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率 %	経過観察数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率 %	経過観察数
事務局・学生部 (保健管理センターを含む)	116	69	69	59		100	59	59	59		100	61	74	61		85	33	33	39		85	32	32	38	
教育学部	201	121	121	60		152	96	96	63		152	95	105	63		110	38	38	35		106	49	49	46	
医学部	289	199	199	69	2	205	85	85	41	4	205	100	100	49	5	149	56	56	38		149	46	46	31	
医学部 附属病院	440	313	313	71		196	102	102	52	8	196	142	142	72	2	126	61	61	48		126	4	4	3	
工学部	177	74	74	42		119	47	47	39		119	47	47	39		99	13	13	13		94	26	26	28	
農学部	145	78	78	54		123	63	63	51	5	123	66	68	54	1	103	9	9	9		103	42	42	41	1
教養部	77	45	45	59		53	39	39	74		53	38	38	72		44	6	6	14		44	11	11	25	(1)
附属 図書館	19	10	10	53		15	8	8	53	2	15	8	8	53	3	11	4	4	36		11	5	5	45	1
工業短期 大学部	35	20	20	57	1	29	14	14	48	1	29	15	18	52	2	25	8	8	32		25	9	9	36	
計	1,499	929	929	62	3	992	513	513	52	20	992	572	600	58	13	752	228	228	30		743	224	224	30	2

注 ()内数字は、希望者数を示す。

5) 昭和62年度職員特別定期健康診断実施計画

対象地区	対象者	日時	検査等項目	場所	備考
柳戸地区	特定有害物質取扱者	7月8日(水) 9:00~14:00	自覚症状等の検査、口腔及び皮膚の検査、血液の検査、尿の検査、肺臓の検査、肺活量の検査等	保健管理センター	医師 3名 看護婦 5名
	病原体取扱者	7月6日(月) 7日(火) 11月24日(火) 9:00~11:00	自覚症状等の検査、病原体による疾病に特有な症状の検査、病原体の検査	〃	医師 3名 看護婦 5名
	放射線取扱者	4月21日(火) 7月31日(火) 10月13日(火) 1月13日(水) 9:00~11:00	皮膚の検査、問診、血液の検査(6カ月毎)	〃	医師1~3名 看護婦 5名
	タイピスト	11月17日(火) 18日(水) 9:30~11:00	自覚症状等の検査、眼の検査、上肢、頸部、背部の機能検査	〃	〃
	電話交換手	〃	自覚症状等の検査、聴器の検査	〃	〃
	自動車運転手	〃	自覚症状等の検査、眼の検査、聴器の検査、平衡機能の検査、胃腸の検査、血圧の測定、上肢、頸部及び腰部の機能検査	〃	〃
	給食等関係者	〃	自覚症状等の検査、伝染病の検査(毎月)、寄生虫の検査、皮膚の検査、腰部の機能検査	〃	〃
	紫外線取扱者	11月17日(火) 18日(水)	自覚症状等の検査、眼及び皮膚の検査	〃	〃
	チェンソー等取扱者	11月24日(火) 9:30~11:00	自覚症状等の検査、筋力の検査、血圧の測定、末しょう循環機能検査、末しょう神経機能検査	医学部 附属病院	〃

対象地区	対象者	日時	検査等項目	場所	備考
司地区	特定有害物質取扱者	11月24日(火) 25日(水) 13:00~16:30	自覚症状等の検査、口腔及び皮膚の検査、血液の検査、尿の検査、肺臓の検査、肺活量の検査等	医学部 附属病院	各診療科で受診及び春、秋毎に6人の看護婦を依頼
	病原体取扱者	5月26日(火) 27日(水) 13:00~16:30 11月24日(火) 25日(水) 13:00~16:30	自覚症状等の検査、病原体による疾病に特有な症状の検査、病原体の検査	〃	
	電話交換手	12月14日(月) 21日(月)	自覚症状等の検査、聴器の検査	〃	
	放射線取扱者	5月26日(火) 27日(水) 15:00~16:00 7月15日(水) 17日(金) 15:00~16:00 10月8日(木) 9日(金) 15:00~16:00 12月17日(木) 18日(金) 15:00~16:00 3月17日(木) 18日(金) 15:00~16:00	皮膚の検査、問診、血液の検査(6カ月毎)	〃	
	タイピスト	12月17日(木) 18日(金) 14:00~15:00	自覚症状等の検査、眼の検査、上肢、頸部、背部の機能検査	〃	
	理学療法士	12月15日(火) 14:00~15:00 12月16日(水) 13:30~14:30 12月23日(水) 13:30~14:30	自覚症状等の検査、皮膚の検査、上肢、頸部、背部の機能検査	〃	

対象地区	対象者	日時	検査等項目	場所	備考
司地区	夜勤者	12月14日(月) ～21日(月) 随時	自覚症状等の検査、血圧 の測定、尿の検査	医学部 附属病院	各診療科で 受診及び春、 秋毎に6人の 看護婦を 依頼
	自動車 運転手	12月14日(月) 14:00～15:00 12月15日(火) 14:00～15:00 12月17日(木) 14:00～15:00 12月18日(金) 14:00～15:00 12月21日(月) 9:00～12:30 12月21日(月) 14:00～15:00	自覚症状等の検査、眼の 検査、聴器の検査、平衡 機能の検査、胃腸の検査、 血圧の測定、上肢、頸部 及び腰部の機能検査	"	
	給食等 関係者	12月14日(月) 14:00～15:00 12月16日(水) 13:30～14:30 12月21日(月) 14:00～15:00 12月23日(水) 13:30～14:30	自覚症状等の検査、伝染 病の検査(毎月)、寄生 虫の検査、皮膚の検査、 腰部の機能検査	"	
加納地区	給食等 関係者	12月24日(木) 11:00～12:00	自覚症状等の検査、伝染 病の検査、寄生虫の検査、 皮膚の検査、腰部の機能 検査	杉浦内科 胃腸科	

特別定期健康診断〔特定有害業務（物質（薬品）取扱者）〕

問 診 票

所属部局

学科

氏 名

生年月日 大・昭 年 月 日生

性 別 男・女

満 才

- 現在服用中の薬が有れば記入してください。

例えば 風邪薬、抗生物質、血圧降下剤

()

- 既往症が有れば記入してください。(カゼ等の軽いものについては記入しなくてよい。)

病 名

治療期間 年 月 ～ 年 月

- 本年度の一般定期健康診断、成人病自動化健診受検の有無を記入してください。

有・無

- 添付別紙の○印で囲んだ番号のうち、現在あなたが自覚する症状が有れば○印で囲み、その他の症状が有る場合は()内に記入してください。

なお、不明な点がありましたら保健管理センターへ、健康診断当日ならばセンター職員にお尋ねください。

1. 便秘、腹部の疝痛、関筋痛、頭痛、不眠、めまい、その他()

四肢の伸筋麻痺及び知覚異常、握力減退、歯肉の帯青灰白又は緑黒色の着色

2. いろいろ、不眠、悪夢、食欲不振、倦怠感、盗汗、頭痛、悪心、嘔吐、腹痛、不安、興奮、

その他()

3. 頭重、不眠、乏尿、多尿、その他()

手指の振せん

4. 不眠、頭痛、精神不安定感、手指の振せん、その他()

口腔粘膜及び皮膚の炎症、潰瘍

5. 頭重、頭痛、口唇又は四肢部の知覚異常、関筋痛、不眠、嗜眠、抑うつ感、精神不安感、

その他()

口腔粘膜及び皮膚の炎症、歩行失調、手指の振せん

6. せき、たん、瞬目減少、膏顔（あぶら顔）、流唾、発汗異常、手指の振せん、書字拙劣、歩行

- 障害、不随意性運動障害、発語異常、その他（ ）
- 握力減退
7. せき、たん、胸痛、その他（ ）
- 角膜、鼻粘膜及び皮膚の炎症及び潰瘍
8. せき、たん、息ぎれ、食欲不振、悪心、嘔吐、反復性の腹痛又は下痢、体重の減少、その他（ ）
- 歯牙の変色、鼻粘膜の炎症
9. せき、たん、咽頭痛、息ぎれ、動悸、倦怠感、食欲不振、体重の減少、その他（ ）
- 皮膚の炎症
10. せき、たん、下痢、便秘、知覚異常、体重の減少、その他（ ）
- 皮膚の色素沈着又は障害、つめの変形、口内炎、鼻粘膜の障害
11. 倦怠感、食欲不振、貧血、黄だん、体重の減少、その他（ ）
- 口腔粘膜の炎症、歯牙の障害
12. 多汗、縮瞳、眼瞼及び顔面の筋線維性攣縮、その他（ ）
13. 頭重、頭痛、疲労感、倦怠感、異味、胃腸症状、その他（ ）
- 結膜充血
14. 頭重、頭痛、全身倦怠感、悪心、嘔吐、鼻血、不眠、貧血、黄だん、その他（ ）
- 発疹、結膜炎
15. 頭重、頭痛、眼痛、鼻痛、咽頭部違和感、せき、たん、胸部圧迫感、息ぎれ、胸痛、呼吸困難、全身倦怠感、体重の減少、その他（ ）
- 眼、鼻腔及び咽頭の粘膜の炎症、皮膚の炎症
16. 頭重、頭痛、もの忘れ、不眠、倦怠感、悪心、食欲不振、顔面蒼白、手指の振せん、その他（ ）
- てんかん様発作の既往歴
17. せき、たん、上気道刺激症状、その他（ ）
- 眼、口腔及び鼻腔の粘膜の炎症、皮膚の炎症、歯牙の腐蝕
18. 胃腸障害、せき、たん、嗅覚鈍麻、その他（ ）
- 眼、口腔及び鼻腔の粘膜の炎症、皮膚の炎症、つめの変形、歯牙の変色
19. 流涙、眼痛、せき、鼻汁過多、頭痛、めまい、その他（ ）
- 皮膚の炎症、心悸亢進、眼球突出、甲状腺腫、手指及び眼瞼の振せん、多食、多汗、体重減少
20. 頭痛、もの忘れ、疲労感、めまい、精神不安定感、その他（ ）
- 視野の狭窄

21. 食欲不振、便秘、せき、嘔声、その他（ ）
口腔粘膜の炎症、歯牙の酸蝕
22. 頭痛、不眠、易疲労性、易興奮性、めまい、悪心、せき、上気道刺激症状、その他（ ）
結膜及び角膜の異常、歯牙の変化
23. 頭重、頭痛、不眠、焦燥感、めまい、下肢の倦怠感又はしびれ感、食欲不振、胃の異常症状、
眼痛、神経痛、その他（ ）
手指の振せん、立位での体のふらつき
24. 疲労感、めまい、頭重、頭痛、不眠、食欲不振、記憶力減退、その他（ ）
25. 血尿、頻尿、排尿痛、その他
26. 顔面蒼白、貧血、チアノーゼ（口唇及び四肢末端の青色）、胃腸障害、体重の減少、めまい、
不眠、耳鳴り、無力感、その他（ ）
27. せき、たん、咽頭痛、頭痛、めまい、易疲労性、倦怠感、食欲不振、甘味嗜好、多汗、発熱、
心悸亢進、眼痛、その他（ ）
皮膚の色素沈着及び炎症
28. 食欲不振、脱力感、その他（ ）
にきび、皮膚の黒変
29. 疲労感、めまい、吐気、その他（ ）
30. 頭痛、めまい、耳鳴り、全身倦怠感、易疲労感、不定の上腹部症状、黄だん、黒色便、手指の
疼痛又は知覚異常、その他（ ）
31. 食欲不振、せき、たん、眼痛、その他（ ）
皮膚の色素沈着、炎症及びいぼ
32. 頭痛、眼痛、鼻痛、せき、たん、胸痛、咽頭部違和感、その他（ ）
眼、鼻腔及び咽喉の粘膜の炎症、皮膚の炎症
33. 頭痛、めまい、悪心、嘔吐、せき、皮膚そうよう感、その他（ ）
鼻腔粘膜の炎症
34. せき、たん、胸痛、呼吸困難、皮膚の蒼白、舌の緑着色、指端の手掌部の角化、手指の振せん、
その他（ ）
35. せき、たん、胸痛、体重の減少、その他（ ）
36. 手足のしびれ、歩行障害、発汗異常、その他（ ）
皮膚の炎症
37. せき、たん、胸痛、体重の減少、その他（ ）
38. 頭重、頭痛、肩凝り、胸部違和感、心臓症状、四肢末端のしびれ感、冷感、神経痛、脱力感、

- 胃腸症状、その他（ ）
39. せき、たん、胸痛、体重の減少、その他（ ）
皮膚の炎症
40. せき、たん、嗄声、流涙、脱力感、胃腸症状、その他（ ）
皮膚の炎症、結膜及び角膜の異常
41. 頭重、頭痛、悪心、嘔吐、不眠、焦燥感、めまい、四肢倦怠感、食欲不振、腹痛、
その他（ ）
42. せき、たん、息ぎれ、胸痛、その他（ ）
43. せき、たん、嗄声、流涙、脱力感、胃腸症状、その他（ ）
眼及び口腔粘膜の炎症、皮膚の炎症、歯牙の変形
44. せき、たん、その他（ ）
皮膚の炎症

特別定期健康診断（エックス線発生装置及び電子顕微鏡取扱者）

昭和 年 月 日

問 診 及 び 皮 膚 の 検 査 表

所 属

氏 名

○ 異常の有無（該当する事項にVを付してください。）

有 無

○ 最近、体の調子や手に下記のような異常を気付いた方は有りませんか。

よく食べ、格別無理な仕事もしていないのに最近特に体が疲れやすく、だるく、よく眠気を催すようになった。

手の指や手のひらが乾いて、書物のページをめくり又は紙幣を数えることがうまくいけなくなった。

温い物を持ち又はお湯に手を入れたとき、普通の人よりも熱く感ずる。

普段、手のひらにヒリヒリする感じ、はれぼったい感じ、熱くほてる感じ又は冷える感じがする。

手の指先の皮膚がざらざらと荒れて厚くなり、爪に縦の太いすじが出てきた。

健康診断実施年月日	問診及び皮膚の検査	担当医師の印	事後措置・指導区分の内容

著しい騒音を発する場所における業務（電話交換手）

問 診 表

所 属

氏 名

昭和 年 月 日生

1. 自覚症状等の検査

難聴の 有 ・ 無

右

左

耳鳴り 有 ・ 無

耳の閉そく等

2. 聴器の検査

聴力 右 左

せん孔、タイプ、筆耕、速記等による手指、肩、頸部等に障害をうけるおそれのある業務
（タイピスト）

問 診 表

所 属

氏 名

昭和 年 月 日生

1. 自覚症状等の検査

上肢・肩の痛み、又はしびれ等

2. 眼の検査

視力 右 () 左 ()

ふくそう等

3. 上肢、頸部の検査

自動車等の運転を行う業務（自動車運転手）

問 診 表

所 属

氏 名

昭和 年 月 日生

1. 自覚症状等の検査

頭痛、腰痛、胃症状等

2. 眼の検査

視力 右 () 左 ()

視野等

3. 聴器の検査

聴力等 右 左

4. 平衡機能の検査

5. 胃腸の検査

6. 血圧測定

7. 上肢、頸部・腰部の機能検査

調理・配膳等のため食品を取り扱う業務

問 診 表

所 属

氏 名

昭和 年 月 日生

1. 自覚症状等の検査
（頭痛、神経痛等）
2. 伝染病の検査
（1月ごとに1回） 別に実施
3. 寄生虫の検査 別に実施
（2・3は実施済を確認すること）
4. 皮膚の検査
（洗剤による皮膚の炎症）
5. 腰部の機能検査

6) 昭和62年度職員特別定期健康診断実施結果

検査項目 部局	有害薬品(1号)				紫外線(2号)				病原体(4号)				チェンソー(5号)				騒音(10号)				放射線					
	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%	経過観察実施数		対象者				
事務局 学生部 (保健管理センターを含む)	1	1	1	100							8	7	8	88								4	4	4	100	1
教育学部	7	7	7	100																						2
医学部	9	5	5	56							193	155	308	80	2											47
医学部 附属病院	32	30	30	94							434	416	825	96	2											47
工学部	19	17	17	89																						105
農学部	13	13	13	100		1	1	1	100		9	9	18	100		4	3	3	75							105
教養部																										16
附属図書館																										16
工業短期 大学部	4	4	4	100																						28
計	85	77	77	91		1	1	1	100		644	587	1159	91	4	4	3	3	75			4	4	4	100	28
																										200
																										200

(注) 1) 放射線の上段数字は、問診及び皮膚の検査、下段数字は血液の検査を示す。

2) 調理配ぜんの上段数字は、伝染病の検査、下段数字は寄生虫及び皮膚の検査を示す。

射線(2号)				タイピスト(3号)				理学療法上(4号)				深夜作業(6号)				自動車(7号)				調理配せん(8号)							
受診 実 人員	受診 延 人員	受診 率 %	経過 観察 実施 数	対 象 者	受診 実 人員	受診 延 人員	受診 率 %	経過 観察 実施 数	対 象 者	受診 実 人員	受診 延 人員	受診 率 %	経過 観察 実施 数	対 象 者	受診 実 人員	受診 延 人員	受診 率 %	経過 観察 実施 数	対 象 者	受診 実 人員	受診 延 人員	受診 率 %	経過 観察 実施 数				
1	4	100																									
				1	1	1	100								3	3	3	100									
1	2	100																									
2	8	100																			3	3	35	100			
2	4	100																			3	3	6	100			
39	159	83																			23	23	276	100			
39	80	83		1	0	0	0				2	2	2	100	4	0	0	0			23	23	46	100			
101	404	96																									
101	202	96							2	2	2	100	200	198	198	99											
14	44	88																									
14	23	88																									
28	104	100																			1	1	12	100			
28	54	100																			1	1	1	100			
1	4	100																									
1	2	100																									
186	727	93																			27	27	323	100			
186	367	93		2	1	1	50		2	2	2	100	202	200	200	99		7	3	3	43			27	27	53	100

3. 昭和62年度保健管理施設利用状況

区 分		柳戸地区(教育・工・農・短・教養・本部)			司地区(医)		
		学 生	職 員	計	学 生		
利 用 者 総 数	内 科 的 処 置	1,746 (51)	1,898 (49)	3,644(100)	85		
	外 科 的 処 置	771 (22)	215 (4)	986 (26)	69		
	整 形 外 科 的 処 置	217 (5)	183 (2)	400 (7)			
	眼 科 的 処 置	62 (9)	13 (2)	75 (11)			
	耳 鼻 科 的 処 置	28 (4)	9 (1)	37 (5)			
	皮 膚 科 的 処 置	103 (7)	147 (1)	250 (8)			
	歯科口腔外科的処置	44 (3)	20	64 (3)			
	精神神経科的処置	473	38	511			
	泌尿器科的処置	3	9 (1)	12 (1)			
	婦人科的処置	39	3	42			
	傷 病 外 利 用	1,594	19	1,613	240		
合 計		5,080(101)	2,554 (60)	7,634(161)	394		
利 用 者 の 内 訳	健 康 相 談	身 体 的 面	2,715	2,112	4,827		
		精 神 的 面	473	37	510		
		計	3,188	2,149	5,337		
	救 急 処 置	創 部 処 置	732	151	883	69	
		湿 布	252	31	283		
		洗 点 眼	12	6	18		
		投 薬	872	1,485	2,357	85	
		注 射					
		ベ ッ ト 休 養	78	9	87		
		そ の 他	15	8	23		
	計	1,961	1,690	3,651	154		
	検 査 ・ そ の 他	尿 検 査	439	213	652		
		血 圧 測 定	286	482	768		
		心 電 図 検 査	29	25	54		
		血 液 検 査	赤 沈	2		2	
			血 糖 検 査	17	81	98	
			肝 機 能 検 査				
			貧 血 検 査	27	19	46	
		採 血	315	215	530		
糖 負 荷 試 験		2	2	4			
脳 波 検 査							
検 温	602	236	838				
診 察	395	333	728				
身 体 計 測 そ の 他	身 体 計 測	65	48	113			
	そ の 他	32	61	93			
	計	2,211	1,715	3,926			
	救 急 薬 品 貸 出	137	5	142			
そ の 他	証 明 書 発 行	1,408	14	1,422			
	互 助 会 相 談	1		1	240		
	そ の 他	42		42			
延 件 数		8,948	5,573	14,521	394		

計		合 計	備 考
学 生	職 員		
1,831 (51)	1,898 (49)	3,729(100)	()内数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。
840 (22)	215 (4)	1,055 (26)	
217 (5)	183 (2)	400 (7)	
62 (9)	13 (2)	75 (11)	
28 (4)	9 (1)	37 (5)	
103 (7)	147 (1)	250 (8)	
44 (3)	20	64 (3)	
473	38	511	
3	9 (1)	12 (1)	
39	3	42	
1,834	19	1,853	
5,474(101)	2,554 (60)	8,028(161)	
2,715	2,112	4,827	
473	37	510	
3,188	2,149	5,337	
801	151	952	
252	31	283	
12	6	18	
957	1,485	2,442	
78	9	87	
15	8	23	
2,115	1,690	3,805	
439	213	652	
286	482	768	
29	25	54	
2		2	
17	81	98	
27	19	46	
315	215	530	
2	2	4	
602	236	838	
395	333	728	
65	48	113	
32	61	93	
2,211	1,715	3,926	
137	5	142	
1,408	14	1,422	
241		241	
42		42	
9,342	5,573	14,915	

昭和62年度月別保健管理施設利用状況（学生）

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	
利用者 総数	内科的処置	223 (5)	304(11)	190 (6)	84(10)	49 (1)	
	外科的処置	59 (4)	127 (3)	168 (6)	80 (3)	27 (1)	
	整形外科的処置	20 (1)	31 (2)	37	16	4	
	眼科的処置	3	7	9 (3)	3	5 (1)	
	耳鼻科的処置	6 (1)	2	3 (1)	1		
	皮膚科的処置	4	14 (1)	7 (1)	14	5 (2)	
	歯科口腔外科的処置	4	6 (2)	7	1	2	
	精神神経科的処置	74	136	97	34	10	
	泌尿器科的処置			2			
	婦人科的処置	4	3	6	11		
	傷病外利用	46	118	308	316	421	
合計	443(11)	748(19)	834(17)	560(13)	523 (5)		
利用者 の内 訳	健康相談						
	身体的面	289	448	358	167	70	
	精神的面	74	136	97	34	10	
	計	363	584	455	201	80	
	救急処置						
	創部処置	56	119	156	74	27	
	湿布	25	33	43	23	4	
	洗点眼	1	3	4			
	投薬注射	68	111	99	66	22	
	ベットの休養その他	11	15	17	5	1	
計	161	283	320	169	54		
検査 の内 訳	尿検査	31	147	68	25	8	
	血圧測定	13	31	36	10	8	
	心電図検査	2	13	10			
	血液検査	赤血沈					1
		血糖検査	6	2	3	2	
		肝機能検査					
		貧血検査		8	4	3	1
	採血	110	17	19	5	9	
	糖負荷試験			1	1		
	脳波検査						
検温	47	83	61	19	10		
診察	28	75	49	18	8		
身体計測		2	14	4	1		
その他	1		14	1	3		
計	238	378	279	88	49		
その他	救急薬品貸出	1	9	20	25	18	
	証明書発行	15	80	265	255	383	
	互助会相談	30	23	23	13	20	
	その他の		7		23		
延件数	808	1,364	1,360	774	604		

() 内数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
94 (2)	394 (7)	123 (4)	142 (3)	85 (1)	105 (1)	38	1,831 (51)
81	81 (3)	72 (2)	60	29	31	25	840 (22)
15 (1)	23	30	18	9 (1)	9	5	217 (5)
4 (2)	2	7 (2)	8	5 (1)	6	3	62 (9)
3 (1)		1	4 (1)	1	1	6	28 (4)
16 (1)	16 (1)	11 (1)	7	3	2	4	103 (7)
4	4	5 (1)	3	1	4	3	44 (3)
25	24	9	10	21	15	18	473
			1				3
5	1	3	2	2	1	1	39
238	93	46	62	74	55	57	1,834
485 (7)	638(11)	307(10)	317 (4)	230 (3)	229 (1)	160	5,474(101)
180	485	219	209	111	123	56	2,715
25	24	9	10	21	15	18	473
205	509	228	219	132	138	74	3,188
85	84	70	58	21	27	24	801
21	27	35	16	11	8	6	252
		3				1	12
69	116	104	98	70	87	47	957
7	4	7	5	3	2	1	78
1	4		3		2	1	15
183	235	219	180	105	126	80	2,115
18	79	14	26	11	9	2	438
14	123	9	19	10	11	2	286
	2		2	1	1		31
	1						2
2			1	1			17
3	2	3	2	1			27
5	130	3	6	11			315
							2
41	72	72	65	45	66	21	602
31	40	34	44	21	37	10	395
6	12	3	6	9	7	1	65
	7	1	4			1	32
120	468	139	175	110	131	37	2,212
13	7	9	17	4	3	11	137
207	67	19	25	45	30	17	1,408
17	19	14	18	16	20	28	241
1		4	2	2	2	1	42
746	1,305	632	636	414	450	248	9,343

昭和62年度月別保健管理施設利用状況（職員）

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	
利用者 総数	内科的処置	153 (1)	139 (4)	122 (4)	171(10)	187 (8)	
	外科的処置	14	7	26 (1)	23	39 (2)	
	整形外科的処置	15	14	19	20	18	
	眼科的処置	1	1	2		3	
	耳鼻科的処置	1		1		1	
	皮膚科的処置	8	7	19	19	26	
	歯科口腔外科的処置		2	3	3	1	
	精神神経科的処置	7	4	6	1	1	
	泌尿器科的処置	2	2		2 (1)		
	婦人科的処置					1	
	傷病外利用		1	3		3	
合 計		201 (1)	177 (4)	201 (5)	239(11)	280 (10)	
利用者 の内 訳	健康相談	身体的面	175	154	152	195	231
		精神的面	7	4	6		1
		計	182	158	158	195	232
	救急 処置	創部処置	3	5	20	10	35
		湿布		3	2	5	4
		洗点		1	1		
		投薬	112	88	119	118	129
		注射					
		ベット休養	1	3	2		
		その他			1		2
	計	116	100	145	133	170	
検査 その他	尿検査	6	22	27	47	15	
	血圧測定	35	57	47	44	42	
	心電図検査	3	4	1	3	1	
	血液検査	赤沈					
		血糖検査	3	1	14	13	9
		肝機能検査					
		貧血検査		1		2	1
	採血	43	5	14	39	9	
	糖負荷試験	1					
	脳波検査						
検温	29	8	16	13	5		
診察	27	20	18	59	16		
身体計測	1		7	2	5		
その他			1	8	12		
計	148	118	145	230	115		
延件数	救急薬品貸出					1	
	証明書発行		1	3		2	
	互助会相談						
	その他の						
延 件 数		446	377	451	558	520	

() 内数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
147 (7)	192	189 (2)	162 (3)	120	140 (3)	176 (7)	1,898(49)
23	22	8 (1)	15	12	13	13	215 (4)
15	17	13	14	12 (1)	14	12 (1)	183 (2)
		1		1	2 (1)	2 (1)	13 (2)
		1 (1)			1	4	9 (1)
10	14 (1)	7	11	6	9	11	147 (1)
2	1	2	3		2	1	20
3	4	3	3	3	1	2	38
1				2			9 (1)
1			1				3
	4	1	1		2	4	19
202 (7)	254 (1)	225 (4)	210 (3)	156 (1)	184 (4)	225 (9)	2,554(60)
160	216	199	168	120	154	188	2,112
3	4	3	3	3	1	2	37
163	220	202	171	123	155	190	2,149
16	20	6	13	10	7	6	151
1	6	2	5	2		1	31
		1		1	1	1	6
99	134	144	142	111	129	160	1,485
1		1	1				9
2	1			1	1		8
119	161	154	161	125	138	168	1,690
33	9	10	10	10	14	10	213
55	39	32	40	29	30	32	482
6	1	1	1	2	1	1	25
13	7	2	6	4	7	2	81
4	1	2	5	2	1		19
14	51	20	7	4	7	2	215
			1				2
15	20	26	26	21	21	36	236
30	19	53	21	12	28	30	333
12	4		2	2	6	7	48
6	1	28			2	2	60
188	152	174	119	86	117	122	1,714
	4						5
		1	1		2	4	14
470	537	531	452	334	412	484	5,572

Ⅱ 「健康のしおり」の発刊について

保健管理センターでは、昭和57年2月に「健康のしおり－健康管理－」を創刊号として発行して以来、学生が日常生活をして行く上に必要かつ一般的でしかも身近な問題を取り上げ、それを症状別・臓器別・疾病別等に分け、分かりやすく編集している。既に18号まで刊行し、学生及び教職員に配布して好評を得てきた。今回も前回に引続き健康のしおり19・20号を発行し配布するとともに、今後も引続き発行する予定である。

- 健康のしおり
1. ー健康管理ー
 2. ー健康づくりー
 3. ー心の健康ー
 4. ーかぜ症候群ー
 5. ー頭 痛ー
 6. ー尿検査で、尿糖(+)と言われたらー
 7. ー心臓の話ー
 8. ー腹痛についてー
 9. ー心雑音及び心音についてー
 10. ー動悸についてー
 11. ー尿潜血(+)といわれたらー
 12. ー尿蛋白(+)といわれたらー
 13. ー血圧についてー
 14. ーアルコールと消化器ー
 15. ーアルコールと消化器(Ⅱ)ー
 16. ー糖尿病ー治療についてー
 17. ー胃を悪くした時の話ー
 18. ー糖尿病ー治療についてーその2
 19. ー甲状腺についてー
 20. ー高血圧についてー

なお、これらのことについて更に詳しく知りたい方は、保健管理センターへおいでください。

また、保健管理センターでは、心身の健康上の問題はもちろんのこと、誰に相談してよいか分からないようないろいろな悩み事についても相談に乗っています。相談内容の秘密は守られますので気軽に利用してください。（電話でも受付けます。）

身近な人達にも利用を勧めてください。

保健管理センター 〈0582〉30-1111 内線2811・2812

甲 状 腺 に つ い て

甲状腺は、重さ15 - 20g程度の首の前下方に位置する小さな臓器で、皮膚の上から触れても、その存在がわからないかほんの少しわかる程度のもので、あまり聞き慣れない臓器かもしれませんが、この甲状腺からはサイロキシン（T4）およびトリヨードサイロニン（T3）という2種類のホルモンが分泌され、この2つの甲状腺ホルモンは新陳代謝を一定に保つという重要な役割を持っています。甲状腺の病気そのものは決して多くはありませんが、特に甲状腺ホルモンの分泌異常による症状が他の臓器の疾患の症状と似ていることが多いため、甲状腺の病気が見逃されたり、他の臓器の疾患とまちがえられたりすることがあります。そこで、今回は甲状腺の病気について簡単にお話します。

甲状腺の病気は、甲状腺ホルモンの分泌異常によるもの、甲状腺の炎症によるもの、甲状腺の腫瘍によるものなどに分けられます。

甲状腺ホルモンの分泌異常によるものには、ホルモン過剰による甲状腺機能亢進症とホルモン不足による甲状腺機能低下症とがあります。甲状腺機能亢進症は甲状腺からのホルモン分泌が高まり、血中に増えた甲状腺ホルモンのため、体全体の働き、新陳代謝が異常に高まることにより症状を引き起こすものです。この甲状腺機能亢進症を来す疾患で最もよくみられるものにバセドウ病があります。バセドウ病は、目が飛び出る病気としてよく知られていますが、特徴的な症状として甲状腺腫、心悸亢進、眼球突出があります。甲状腺腫とは甲状腺が大きく腫れていることで、一目見てわかるほどの大きさになることがあります。心悸亢進とは、心臓の活動性が高まったため頻脈となり動悸を来すことです。このため、心臓の病気とまちがえることがあります。そのほかの症状として、多汗、手指の振るえ、全身倦怠感、体重減少、過食、微熱、軟便、下痢、不眠、精神不安、頭痛、落ち着きの無さ、いらいら感、高血圧、月経異常などがあり、これら不定の症状がいろいろな組合せで見られます。

一方、甲状腺機能低下症は、甲状腺からのホルモンの分泌が低下し、血中の甲状腺ホルモンが不足するため、体全体の活動性が低下するために症状を来す疾患です。症状として、寒がり、全身倦怠感、皮膚の乾燥、食欲不振、便秘、体重増加、脈拍の減

少、貧血、月経異常、意欲の減退、不活発、かれた声、むくみなどがみられます。

以上述べましたように、甲状腺ホルモンの異常を来した場合、甲状腺自体の症状よりも、甲状腺ホルモンが働く各臓器による症状が出ます。そのため、これらの症状がみられた場合甲状腺の異常も疑ってみることが大切となります。

甲状腺の炎症性疾患として良くみられるのが、亜急性甲状腺炎と慢性甲状腺炎です。亜急性甲状腺炎は首の痛みや発熱が見られますが、この疾患の特徴は痛みの部位が移動することです。例えば、はじめ首の右の方が痛かったのが、しだいに左の方が痛くなったりします。そして、甲状腺を抑えると強い痛みがあります。慢性甲状腺炎は橋本病とも言われ、中年の女性に多く、普通痛みはありませんが、甲状腺が硬く腫れてきます。時に、先に述べました甲状腺機能低下症を伴います。

甲状腺が大きく腫れるものとして、単純性甲状腺腫、甲状腺のがん及び良性の腫瘍（おでき）、そして前述したバセドウ病や橋本病などがあります。首が腫れてきたと言って、受診される方もありますが、この場合は、相当に甲状腺が大きくなっていると考えられます。健康診断の時、若い女性などで甲状腺の腫れが指摘される場合に最も多いのが単純性甲状腺腫です。これは甲状腺が腫れてはいますがホルモン異常もなく、あまり問題となりません。甲状腺が部分的に腫れている場合は良性の腫瘍のこともあります。がんも考えられますので、専門医との相談が必要です。

甲状腺の病気について述べてきましたが、少し専門的でむずかしかったかもしれません。もし、ここに挙げた症状があってもなかなか良くならないときはひょっとしたら甲状腺の異常かもしれません。気軽に保健管理センターにお立ち寄りください。いつでもご相談に応じます。

健康のしおり 20

高 血 圧 に つ い て

皆さんは「高血圧」という言葉を耳にしたり、又、皆さんの周囲にも高血圧の治療を受けている人がいらっしゃると思います。

さてここで「高血圧」というものはどういうものであるか、簡単にお話してみたいと思います。

高血圧とは血の圧力、つまり血圧が高いという状態をしめす言葉で病名ではありません。正確な病名は高血圧症といいます。では、高血圧の人は血圧が高いだけで他の点では一般の健康な人と変らないのかということそうでもないのです。高血圧の状態をそのままにして放置しておく、脳・心臓・腎臓などの大切な臓器をはじめ全身のあらゆる血管に重大な病的変化をおこしてきます。

皆さんもどこかで一度ぐらいは血圧を測定されたことがあると思います。ご存知のように血圧には上と下があります。上というのは最高血圧または収縮期血圧といって、心臓が収縮して血液を送り出すときに血管壁に加わる最も高い圧力のことです。下というのは最低血圧又は拡張期血圧ともいって、心臓が拡張したときに血管壁に加わっている圧力のことをいいます。私たちが皆さんの血圧を測定するときは必ずこの上と下の血圧を測定し、例えば 130/80 というように記載します。

一般に健康な人の正常な血圧はどれくらいかと申しますと、国際連合の機関である世界保健機構WHOの基準では次のように定められています。成人では、収縮期血圧 140mmHg 未満/拡張期血圧 90mmHg 未満が正常な血圧とされ、収縮期血圧 160mmHg 以上/拡張期血圧 95mmHg 以上の人を高血圧とし、収縮期血圧 140~159mmHg /拡張期血圧 90~94mmHg の人を境界域の高血圧と分類しています。

血圧はいつも一定の値で固定しているわけではなく、同一人物でもかなり変動があります。ただ一回の測定でその人の血圧を云々することはできません。ですから何回もこまめに血圧を測定し、その人の血圧の傾向を調べなくてはなりません。

ではここで高血圧はなぜおこるのでしょうか？高血圧の原因として腎臓の病気・腎臓の血管の病気・ホルモンの異常などがわかっていますが、これらは全部の高血圧のうちのわずか10%にすぎず、残りの90%は残念ながら今の医学をもってしても原

因不明です。この原因不明の高血圧を「本態性高血圧症」と呼んでいます。原因はわからないが、体内の血管の内腔が狭くなり又かたくなり、もろくなってその結果血圧が上昇します。そしてその高い圧力にうちかつために心臓にますます負担がかかってきます。この様な状態を長く続けていますと最後には、脳卒中・心不全・冠動脈硬化症・腎不全等をおこし生命にかかわる状態に陥る可能性もあります。

高血圧症治療と管理の原則は、血圧を正常に調節する事で、脳・心臓・腎臓や全身の血管に病変をおこさぬよう予防し、又すでに病変がおきている場合にはそれ以上病変を進行させないようにする事です。治療というとすぐ降圧剤の服用を考える人が多いようですが、基本は自分自身が社会や家庭での日常生活を摂生することにあります。そしてこれを補助するのが降圧剤なのです。日常生活における食事・運動・睡眠・喫煙・ストレスなどは血圧に非常に大きな影響を与えますので、これらについて具体的に医師とよく相談しその指示を守ることが高血圧症治療・管理の基本です。

血圧の高さと自覚症状は必ずしも一致しません。むしろ高血圧症はこれといった自覚症状のないことが多く、放っておくと次第に体をむしばんでいきます。海外では高血圧症のことを Silent Killer、静かなる殺人者といって恐れられています。ですから、自覚症状がないからと言って勝手に自分は大丈夫と判断することは絶対禁物というわけです。

高血圧症は現代医学をもってしても完全には治らない病気です。しかし根気よく治療・管理することによって、例えば近視の人が眼鏡をかけて何ひとつ不自由しないのと同様に、正常な人と同じ様な社会生活をおくり人生を楽しむことができるのです。

Ⅲ 研究・調査報告

1. 昭和62年度入学生の健康管理カードによる健康調査の集計結果

1) 自覚症状

自覚症状	教育学部			医学部			工
	男	女	計	男	女	計	男
1. よく感冒をひく	17	63	80	4	4	8	73
2. ひどい寝汗をかくことがある		2	2				23
3. 口が渇くことがある	14	43	57	10	5	15	92
4. 顔や下肢がむくむことがある	3	11	14	1	3	4	6
5. おなかをよくこわす	23	42	65	9	5	14	119
6. よく便秘する	2	72	74	2	8	10	33
7. 頭が重かったり痛んだりすることがある	17	81	98	8	6	14	57
8. めまい・立ちくらみがすることがある	29	97	126	11	7	18	132
9. 息苦しくなって困ることがある		7	7	2		2	11
10. 疲れやすく元気がない	6	16	22	6	3	9	34
11. 手足のつることがある	16	45	61	6	2	8	75
12. めだって体重が増減したことがある	4	8	12	5		5	24
13. 関節・腰などに痛みを感ずることがある	15	58	73	6	3	9	68
14. 薬剤使用後に熱や発疹がでたり、気分が悪くなったことがある	4	4	8	2	3	5	8
入学生数	96	260	356	57	27	84	451
健康調査済者数	89	260	349	57	27	82	442

学部		農学部			合計			工業短期大学部		
女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
3	76	22	15	37	116(15.6)	85(22.7)	201(17.9)	29	1	30(15.0)
	23	3		3	26(3.5)	2(0.5)	28(2.5)	9		9(4.5)
4	96	27	13	40	143(19.2)	65(17.3)	208(18.6)	42	1	43(21.5)
1	7	4	1	5	14(1.9)	16(4.3)	30(2.7)	4		4(2.0)
2	121	48	16	64	199(26.7)	65(17.3)	264(23.6)	54		54(27.0)
1	34	8	17	25	45(6.0)	98(26.1)	144(12.9)	10		10(5.0)
1	58	35	17	52	117(15.7)	105(28.0)	222(19.8)	20		20(10.0)
7	139	50	22	72	222(29.8)	133(35.5)	355(31.7)	59	2	61(30.5)
	11	3	1	4	16(2.1)	8(2.1)	24(2.1)	4		4(2.0)
1	35	15	6	21	61(8.2)	26(6.9)	87(7.8)	12		12(6.0)
3	78	26	14	40	123(16.5)	64(17.1)	187(16.7)	36		36(18.0)
	24	8	3	11	41(5.5)	11(2.9)	52(4.6)	13		13(6.5)
3	71	23	12	35	112(15.0)	76(20.3)	188(16.8)	32		32(16.0)
	8	2	3	5	16(2.1)	10(2.7)	26(2.3)	5		5(2.5)
13	464	162	78	240	770	378	1,144	205	3	208
13	455	159	75	234	745<97.3>	375<99.2>	1,120<97.9>	197	3	200<96.2>

()内は、健康調査済者数に対する％
< >内は、入学生数に対する％

2) 自觉症状数

自 覚 症 状	教育学部			医学部			工学部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	32	68	100	26	8	34	134	3	137
1	19	55	74	7	7	14	107	3	110
2	13	47	60	9	5	14	80	3	83
3	7	40	47	7	3	10	64	3	67
4	7	20	27	4		4	27	1	28
5	6	15	21	2	2	4	13	2	15
6	5	10	15		1	1	7		7
7		4	4		1	1	5		5
8 以上		1	1				5		5
入 学 生 数	96	260	356	57	27	84	451	13	464
健康調査済者数	89	260	349	55	27	82	442	13	455

農学部			合計		
男	女	計	男	女	計
45	18	63	237 (31.8)	97 (25.9)	334 (29.8)
42	22	64	175 (23.5)	87 (23.2)	262 (23.4)
45	18	63	237 (31.8)	97 (25.9)	334 (29.8)
11	11	22	89 (11.9)	55 (14.7)	144 (12.9)
11	3	14	49 (6.6)	24 (6.4)	73 (6.5)
10	4	14	31 (4.2)	23 (6.1)	54 (4.8)
2	3	5	14 (1.9)	14 (3.7)	28 (2.5)
2		2	7 (0.9)	5 (1.3)	12 (1.1)
1	1	2	6 (0.9)	2 (0.5)	8 (0.7)
162	78	240	766	378	1,144
159	75	234	745 (97.3)	375 (99.2)	1,120 (97.9)

工業短期大学部		
男	女	計
62	1	63 (31.5)
50		50 (25.0)
36	2	38 (19.0)
19		19 (9.5)
17		17 (8.5)
6		6 (3.0)
2		2 (1.0)
2		2 (1.0)
3		3 (1.5)
205	3	208
197	3	200 (96.2)

3) 既往症

病名	教育学部			医学部			工学部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1. 肺結核		1	1						
2. その他の結核									
3. 心疾患		1	1				3		3
4. 腎疾患	1	6	7				3	1	4
5. 肝疾患	1		1				1		1
6. 気管支喘息	2	9	11	2	1	3	13		13
7. 貧血	2	15	17		2	2	8	3	11
8. リウマチ	1	1	2						
9. 小児マヒ									
10. てんかん									
11. ノイローゼ		1	1				1		1
12. 精神神経疾患									
13. 交通事故による疾患	1	4	5	1		1	4		4
14. その他	3	15	18	2		2	20		20
入学生数	96	260	356	57	27	84	451	13	464
健康調査済者数	89	260	349	55	27	84	442	13	455

農学部			合計		
男	女	計	男	女	計
				1 (0.3)	1 (0.1)
			3 (0.4)	1 (0.3)	4 (0.4)
1	1	2	5 (0.7)	8 (2.1)	13 (1.2)
			2 (0.3)		2 (0.2)
1	3	4	18 (2.4)	15 (4.0)	31 (2.8)
2	5	7	12 (1.6)	25 (6.7)	37 (3.3)
			1 (0.1)	1 (0.3)	2 (0.2)
			1 (0.1)	1 (0.3)	2 (0.2)
2		2	8 (1.1)	4 (1.1)	12 (1.1)
6	3	9	31 (4.2)	18 (4.8)	49 (4.4)
162	78	240	766	378	1,144
159	75	234	745 (97.3)	375 (99.2)	1,120 (97.9)

工業短期大学部		
男	女	計
1		1 (0.5)
6		6 (3.0)
3		3 (1.5)
1		1 (0.5)
4		4 (2.0)
205	3	208
197	3	200 (96.2)

2. 昭和58年度以降教育・工・農学部卒業生の保健管理センター利用状況調べ

1) 昭和58年度卒業生

		教育学部	工学部	農学部	合計
卒業生数		338	286	202	826
センター利用者数		186	179	138	503 (60.9)
精神健康相談者数		103	56	47	206 (24.9)
55 年度 入 学 生	入学生数	332	319	208	859
	卒業生数	326	228	181	735 (85.6)
	センター利用者数	175	138	124	437 (59.5)
	精神健康相談者数	95	42	41	178 (24.2)

()内は、卒業生数に対する%

< >内は、入学生数に対する%

2) 昭和59年度卒業生

		教育学部	工学部	農学部	合計
卒業生数		322	343	199	864
センター利用者数		178	198	139	515 (59.6)
精神健康相談者数		66	60	51	177 (20.5)
56 年度 入 学 生	入学生数	339	359	210	908
	卒業生数	317	272	181	770 (84.8)
	センター利用者数	169	145	125	439 (57.0)
	精神健康相談者数	64	49	44	157 (20.4)

3) 昭和60年度卒業生

		教育学部	工学部	農学部	合計
卒業生数		314	329	184	827
センター利用者数		222	203	139	564 (68.2)
精神健康相談者数		88	70	44	202 (24.4)
57 年度 入 学 生	入学生数	326	360	211	897
	卒業生数	293	263	167	723 (80.6)
	センター利用者数	211	165	127	503 (69.6)
	精神健康相談者数	86	62	42	190 (26.3)

4) 昭和61年度卒業生

		教育学部	工学部	農学部	合計
卒業生数		334	299	207	840
センター利用者数		222	170	162	554 (66.0)
精神健康相談者数		93	52	55	200 (23.8)
58 年度 入学生	入学生数	351	362	210	923
	卒業生数	313	237	175	725 (78.5)
	センター利用者数	206	130	137	473 (65.2)
	精神健康相談者数	88	41	47	176 (24.3)

5) 昭和62年度卒業生

		教育学部	工学部	農学部	合計
卒業生数		324	342	195	861
センター利用者数		213	192	145	550 (63.9)
精神健康相談者数		53	60	26	139 (16.2)
59 年度 入学生	入学生数	337	361	211	909
	卒業生数	300	249	168	717 (78.9)
	センター利用者数	205	138	104	447 (62.3)
	精神健康相談者数	52	41	14	107 (23.9)

6) 昭和58・59・60・61・62年度卒業生の統計

	教育学部	工学部	農学部	合計
卒業生数	1632	1599	987	4218
センター利用者数	1021 (62.6)	942 (58.9)	723 (73.3)	2686 (63.7)
精神健康相談者数	403 (24.7) ((39.5))	298 (18.6) ((31.6))	223 (22.6) ((30.8))	924 (21.9) ((34.4))

()内は、卒業生数に対する%

(())内は、センター利用者数に対する%

3. 昭和56年度以降教育・工・農学部入学生の保健管理センター

来所動機・経過及び面接結果調べ（最短修業年限卒業生例）

1) 昭和56年度入学生

		教 育 学 部		
		男	女	計
身体的な訴えをもって来所した学生数	自発的に	47	58	105
	すすめられて	17	18	35
	計	64	76	140 (44.2)
精神的な訴えをもって来所した学生数	自発的に			
	すすめられて	13	16	29
	計	13	16	29 (9.1)
合 計	自発的に	47	58	105
	すすめられて	30	34	64
	計	77	92	169 (53.3)

身体的な訴えをもって来所するも、それが精神的なものであった学生数	自発的に	14	11	25
	すすめられて	5	5	10
	計	19	16	35 ((25.0))
精神的な面での対処が必要であった学生数	自発的に	14	11	25
	すすめられて	18	21	39
	計	32	32	64 (20.2)
入 学 生 数		339		
卒 業 生 数		317 (93.5)		

工 学 部			農 学 部			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
84	3	87	57	25	82	188	86	274
30	2	32	13	2	15	60	22	82
114	5	119 (43.8)	70	27	97 (53.6)	248	108	356 (46.2)
				2	2		2	2
25	1	26	19	7	26	57	24	81
25	1	26 (9.6)	19	9	28 (15.5)	57	26	83 (10.8)
84	3	87	57	27	84	188	88	276
55	3	58	32	9	41	117	46	163
139	6	145 (53.3)	89	36	125 (69.1)	305	134	439 (57.0)

10	1	11	7	5	12	31	17	48
12		12	4		4	21	5	26
22	1	23 ((19.3))	11	5	16 ((16.5))	52	22	74 ((20.8))
10	1	11	7	7	14	31	19	50
37	1	38	23	7	30	78	29	107
47	2	49 (18.0)	30	14	44 (24.3)	109	48	157 (20.4)
359			210			908		
272 (75.8)			181 (86.2)			770 (84.8)		

()内は、卒業生数に対する％
 (())内は、身体的な訴えをもって来所した学生数に対する％
 < >内は、入学生数に対する％

2) 昭和57年度入学生

		教 育 学 部		
		男	女	計
身体的な訴えをもって来所した学生数	自発的に	61	49	110
	すすめられて	32	33	65
	計	93	82	175 (59.7)
精神的な訴えをもって来所した学生数	自発的に			
	すすめられて	10	26	36
	計	10	26	36 (12.3)
合 計	自発的に	61	49	110
	すすめられて	42	59	101
	計	103	108	211 (72.0)

身体的な訴えをもって来所するも、それが精神的なものであった学生数	自発的に	9	16	25
	すすめられて	11	14	25
	計	20	30	50 ((28.6))
精神的な面での対処が必要であった学生数	自発的に	9	16	25
	すすめられて	21	40	61
	計	30	56	86 (29.4)
入 学 生 数		326		
卒 業 生 数		293 (89.9)		

工 学 部			農 学 部			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
75	4	79	54	27	81	190	80	270
62	1	63	18	8	26	112	42	154
137	5	142 (54.0)	72	35	107 (64.1)	302	122	424 (58.6)
			5		5	5		5
20	2	22	13	2	15	43	30	73
20	2	22 (8.4)	18	2	20 (12.0)	48	30	78 (10.8)
75	4	79	59	27	86	195	80	275
82	3	85	31	10	41	155	72	227
157	7	164 (62.4)	90	37	127 (76.0)	350	152	502 (69.4)

8		8	4	3	7	21	19	40
32		32	11	4	15	54	18	72
40		40 ((28.2))	15	7	22 ((20.6))	75	37	112 ((26.4))
8		8	9	3	12	26	19	45
52	2	54	24	6	30	97	48	145
60	2	62 (23.6)	33	9	42 (25.1)	123	67	190 (26.3)
360			211			897		
263 <73.1>			167 <79.1>			723 <80.6>		

3) 昭和58年度入学生

		教 育 学 部		
		男	女	計
身体的な訴えをもって来所した学生数	自発的に	55	54	109
	すすめられて	24	35	59
	計	79	89	168 (53.7)
精神的な訴えをもって来所した学生数	自発的に		3	3
	すすめられて	12	23	35
	計	12	26	38 (12.1)
合 計	自発的に	55	57	112
	すすめられて	36	58	94
	計	91	115	206 (65.8)
身体的な訴えをもって来所するも、それが精神的なものであった学生数	自発的に	8	10	18
	すすめられて	16	16	32
	計	24	26	50 ((29.8))
精神的な面での対処が必要であった学生数	自発的に	8	13	21
	すすめられて	28	39	67
	計	36	52	88 (28.1)
入 学 生 数		351		
卒 業 生 数		313 (89.2)		

工 学 部			農 学 部			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
84	2	86	50	39	89	189	95	284
28		28	24	7	31	76	42	118
112	2	114 (48.1)	74	46	120 (68.6)	265	137	402 (55.4)
2		2				2	3	5
13	1	14	9	8	17	34	32	66
15	1	16 (6.8)	9	8	17 (9.7)	36	35	71 (9.8)
86	2	88	50	39	89	191	98	289
41	1	42	33	15	48	110	74	184
127	3	130 (54.9)	83	54	137 (78.3)	301	172	473 (65.2)

9		9	4	7	11	21	17	38
16		16	16	3	19	48	19	67
25		25 ((21.9))	20	10	30 ((25.0))	69	36	105 ((26.1))
11		11	4	7	11	23	20	43
29	1	30	25	11	36	82	51	133
40	1	41 (17.3)	29	18	47 (26.9)	105	71	176 (24.3)
362			210			923		
237 <65.5>			175 <83.3>			725 <78.5>		